



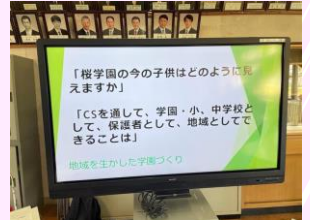
桜学園コミュニティ・スクール(CS)推進会議

「桜学園をどんな学校にしていきたいか」「どんな子どもたちを育てていきたいか」「子どもたちにどんな力を身に付けてもらいたいか」そんなことを話し合う「CS協議会」の本格導入(R6年度)に向けて、只今、準備を進めているところです。この1年間の「桜学園CS推進会議」(準備会議)の取組をまとめました。



<CS推進会議の構成メンバー>

地域の方12人	学識経験者5人
P T A関係4人	学校職員4人
	合計 25人



第1回推進会議(5月18日(木))

熟議テーマ「桜学園の今の子どもたちはどのように見えますか」

「CSを通して、学園・小、中学校として、保護者として、地域としてできることは」

→はじめに、現在の学校グランドデザインをもとに、学園の教育目標・目指す児童生徒像についての共通認識をもちました。熟議では、今の子どもたちがどのように見えるのかについて意見交換が行われ、課題と思われることについての対策まで話し合いました。

★目指す児童生徒像・児童生徒の実態をもとに、付箋を使い熟議を行いました。保護者や地域としてできることについて、熱く意見が交わされました。

第2回推進会議(6月28日(水))

熟議テーマ 「学校の教育活動において、子どもたちのために学校と地域が行えることは
～現在における地域の資源・人財・活動等の理解を通して～」

→グループごとに地域資源や地域、保護者にできることについて話し合いました。地域や学園の課題を明らかにすることで、活発な意見交換が行われました。

★自然、歴史、外部機関、人材など地域にはたくさんの資源があることが明らかになりました。学園・学校のニーズに合わせて、どのように整備し、教育課程の中で活用していくかが課題となりそうです。

第3回推進会議(12月1日(金))

熟議テーマ「学校の教育活動において、子どもたちのために学校と地域が行えることは」

→「ねらい」や「方向性」を確認し、学校区ごとに分かれ、各校の実態を踏まえた上で、学校と地域が子どもたちのために行えることについて話し合いました。

★学校区ごとに話し合ったことで、それぞれの学校が抱えている課題が明確になり、これからの学校運営の中で重点化すべき方向が明らかになりました。

第4回推進会議は、2024年2月2日(金)を予定しています。

本年度の教育活動や学校評価等について報告し、次年度に向けた協議を検討しています。



<1年間の振り返りと今後について>

- どのような課題があり、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかを時間をかけて話し合うことで、地域とともにある学校づくりに進んでいくことができるように感じました。
- 学校の課題を広く共有することで、子どもたちにとって快適な教育環境をつくっていくことにつながると感じました。
- △地域とともにある学校づくりに向けて、地域の資源を効果的に活用し、協働体制を構築していくことが必要だと思いました。
- △保護者や地域への理解をさらに深め、相互に連携・協働する場を増やし、学校運営の改善につなげていくことが大切だと思いました。